

スケート場へ行こう

朝晩の冷え込みが厳しくなり、いよいよスケートシーズンです。平成17年12月にオープンした県クリスタルパーク恵那スケート場は、県内で唯一のスケート場として市民だけでなく、遠方からの利用者に愛されて、ことし9周年を迎えます。

スケート場といえば、スケート競技だけを思い浮かべますが、この施設では1年を通して皆さんに楽しんでもらうため、さまざまな工夫をしています。

ここでは、全国に誇れるスケート場のいろいろな楽しみ方や、スケートリンクがどのように造られるかを紹介します。

お問い合わせ 恵那スケート場 28-33390

施設の概要

- 恵那スケート場は、県民のスポーツやレクリエーション、その他の行事のための施設です。
- スピードスケートリンク 400 ㍍国際規格標準ダブルトラック
- サブリンク 60 ㍍×30 ㍍（カーリングなどにも使用）
- センターハウス 事務室、食堂、ロッカー室、貸靴庫、多目的ルーム、イベントロビー、展示ロビーなど
- 放送記録棟 大会時の審判通告室、役員控室、貴賓室、会議室など
- スタンド 約2,000人収容
- 照明塔 6基
- 駐車場 209台（うち大型バス4台）
- 公園 壁打ちテニス、ストリートバスケットボールにも使用
- 営業時間 ①冬季 11月下旬～翌年2月中旬（無休）▷競技者専用＝午前6時～8時▷一般＝午前9時～午後8時半（土・日曜日、祝日は午前8時半～午後8時半）②冬季以外 4月中旬～9月中旬（月曜休み）▷利用時間＝午前8時半～午後5時



フィギュアスケート教室

フィギュアスケートを上手に滑れるようになりたい人のために、基礎から徐々に上達することを目指す、全5回コースの教室です。先生は、県スケート連盟の普及部の方たちですが、個人のレベルに応じて上達するためのコツを教えてください。教室時間は各1時間。レベルを徐々に上げてい人にお勧めです。



人気 初心者無料スケート教室

スケートをすることが初めての人や、初心者の方が、スケートを楽しく滑れるようになるためのコツを教える無料のスケート教室です。教室時間は1時間。先生は、県スケート連盟の普及部の方たちです。無料で気軽に参加できるので、毎回、定員を超えてしまう人気の教室です。スケートに興味があるけど、難しいと思っている人は友だちを誘って参加ください。

冬の楽しみ



カーリング教室

普段はなかなか体験できないカーリングを無料で体験できる教室です。ストーン（上部に取っ手を付けた円盤型の石）の投げ方やブラシの使い方、氷の上の歩き方など、スケートとは違う魅力を体験できます。教室時間は2時間。先生は愛知県と長野県のカーリング協会の方たちです。カーリングをする場所は貸し切りなので、スケートをしている人とぶつかることなく安全に楽しむことができます。



クリスタルクリスマス

スケート場の冬季イベントの中でも、最も多く催しが行われるイベントです。当日は高校生以下の滑走料が無料（貸靴代は必要）の他、ハンドベルのコーラスやサンタさんのソリ滑り、大道芸、ビンゴ大会などがあります。中でもサンタさんのソリ滑りは、小さなお子さんに好評です。トナカイとサンタさんが子どもたちをソリに乗せてリンクの中を滑ってくれます。ことしは12月23日（火）に開催します。

新 クリスタルパークイルミネーション

本年度からスケート場のリンクでイルミネーションを行います。センターハウスとリンク内をLEDのイルミネーションでライトアップします。冬季シーズン中は、スピードスケート競技大会の日以外は午後5時以降、毎日点灯します。イルミネーションでライトアップされた幻想的な風景の中で、ナイタースケートを楽しみませんか。12月23日（火）～28日（日）、1月1日（木）～5日（月）の期間は、イルミネーションイベントの来場者にプレゼントがあります。12月27日（土）は大会開催のため点灯しません。



イメージキャラクター「クリス」のフェイスブック (<https://www.facebook.com/ena.skate/>) で最新情報をチェックするクマ! 「いいね!」してほしいクマ!

アクセス

- ▽JR武並駅から徒歩8分（約800㍍）
- ▽中央自動車道恵那インターチェンジから車で約10分（約8㍍）
- ▽中央自動車道瑞浪インターチェンジから車で約25分（約20㍍）



▲スピードスケートの全国大会も開催

日本でも最西端、最南端にある屋外400㍍スピードスケートリンクは、主要道路や鉄道からのアクセスも良く、風の影響が少ないのが特徴。豊かな自然の中で自分に合った楽しみ方を見つけてください。

楽しみ方はいろいろ

冬季はスケート場としてスピードスケートや一般滑走などに使用されている他、各種教室を開催し、スケートに親しんでもらっています。冬季以外はインラインスケートやフットサル、各種イベントに利用できる複合施設です。



フットサル

フットサルコートは、フットサルの練習や大会などの他にも、多目的に使えるコートです。他のフットサル場と比べて、使用料が割安なので、市内の人だけでなく、市外や県外の人も利用します。フットサルの大会も一般の部や少年の部、レディースの部など多種に行われています。



夕涼みインラインスケート

夏の間、日中は暑いスケート場も、夕方以降は涼しくてとても快適です。そんな涼しい環境の中でインラインスケートを楽しんでもらうために、期間限定で営業時間を延長し、ナイターでインラインスケートを楽しむことができます。期間中は楽しみプレゼントの他に、インラインスケートを使ったダンスやトリックなどのパフォーマンスが見られる日もあります。ことしから始めたイベントですが、利用者からは、「涼しい中でインラインスケートが楽しめて良い」と好評です。

インラインスケート

アイススケートの400㏍スピードリンクの場所では、夏季シーズン中、インラインスケートを楽しむことができます。夏季シーズンのオープン日と夏休み期間中の2回、夏季シーズンの最終営業日に無料開放イベントも行っています。インラインスケートをするのが初めての人でも楽しく滑れるように、無料のインラインスケート教室も開催しています。教室は午前と午後の2回、県インラインスケート協会の方が丁寧に教えます。

毎年、全日本インラインロードレース選手権大会などの大会も開催しています。

見て楽しむスケート場の大会など

12月5日(金)・6日(土)	全国高校総体スケート選手権県予選兼県高校総体スケート競技会
7日(日)	オープン9周年イベント(滑走料無料)
12日(金)	県中学校総合体育大会スケート競技会
13日(土)	第1回クリスタルカップ競技会、第2回バッジテスト競技会
17日(水)	東濃地区高校総体スケート競技会
20日(土)	第2回クリスタルカップ競技会、第3回バッジテスト競技会
23日(火)	クリスタルクリスマス2014(高校生以下滑走料無料)
27日(土)	国体スケート競技会県選考会、県ジュニアスケート競技会
29日(月)	愛知県国体予選会
30日(火)	西日本スピード・西日本ジュニアスピードスケート競技会
1月10日(土)	全国小学生スーパースプリントスピード交流会
16日(金)	第1回クリスタルパークトライアル競技会
17日(土)	東濃体育大会スケート競技会、東濃ジュニアスケート大会
18日(日)	市民大会スケート競技会
24日(土)	県民スポーツ大会冬季スケート競技会
2月4日(水)	県高校新人スケート競技会
8日(日)	3市(土岐市・瑞浪市・中津川市)合同スケート競技会
10日(火)	市長杯第1回スピードスケート競技会
14日(土)	県ジュニアスピードスケート距離別競技会
22日(日)	冬季シーズン最終日感謝イベント(滑走料無料)

スケートの料金

区分	一般	高校生	小・中学生
1回滑走料	1,000円	800円	500円
回数券(11回分)	10,000円	8,000円	5,000円
シーズン券	15,000円	12,000円	7,500円
入場料	1回 100円	回数券(11回) 1,000円	シーズン券 1,500円
貸靴代	500円		

スケート以外の料金

区分	一般	高校生以下
インラインスケート	400円	200円
トレーニング器具	200円	100円
フットサルコート(1面)	500円(1時間)	
各種器具・用具	200円~	
シャワー	100円	

職人の技が造り出す美しい氷

恵那スケート場は、毎年スケートリンク造りの職人たちが、10月中旬から翌年3月まで、熟練の技と知識を集結して管理しています。

県内で唯一のスケート場として、たくさんの方々に楽しんでいただくために、滑りやすい氷作りをしています。

恵那スケート場でスケートリンクを管理している会社の井上巨さんは「外気温の変化などいろんな条件の下で、スケートリンクをベストな状態にするよう心掛けています。『また来たい』というお客様の声に厳しい作業をするための力になります」と笑顔で語ります。



①アイスパネルを敷く

夏季シーズンが終わると、アイスパネルというシートをリンクとなる場所に手作業で敷く。1枚の大きさは、幅1㏍、長さ15から60㏍で、大きさの違うものを組み合わせて直線やコーナーを作る。スピードリンクとサブリック合わせて8,200平方㏍の面積にアイスパネルを敷く作業は、10人がかりで1週間。アイスパネルには細い管が通っていて、そこに冷却液を流して氷を作る。



②散水で氷の層を作る

アイスパネルにホースで少しずつ水をまいて氷の層を作る。1回の散水で作る氷の層は1㏍ほど。気温が下がり始める午後3時ごろから午前2時ごろまで、1日に10回程度散水する。層が2㏍くらいまでは常温の水、そこからは30から40度のお湯をまいて表面の霜や不純物を取り除く。不純物が氷に混ざると溶けやすくなり、透明感のある美しい氷にならない。屋外リンクは外気温の変化に影響を受けるため管理が難しい。氷の層が均一に凍るよう、外気温によって散水の仕方を調整しながら、最終的には7から8㏍の層にする。



③氷を美しく保つ

屋外リンクの氷の温度はマイナス5度が理想。1日を通して適温を保つため、毎朝の天気予報に細心の注意を払う。気温が上がろうな日は、早めに冷凍機を動かして、氷の温度ができるだけ外気温の影響を受けないようにする。その判断が1日の氷の状態を左右する。営業時間が終わると整氷機をかけ、その日にできた傷などはその日のうちに補修し、次の日には美しい氷をお客さんに楽しんでもらう。



魅力を伝える声

冬季営業期間中は、多くを毎日恵那スケート場で練習するという恵那スケート場クラブの選手たち。恵那スケート場の魅力を聞くこと、夜は月を見ながら滑ることができると、地元のイベントやクリスマスイベントにも参加できて楽しい。選手以外にも友だちや知り合いに会えるので楽しい」と話してくれました。恵那スケート場ならではの楽しみが来場者をもてなします。

